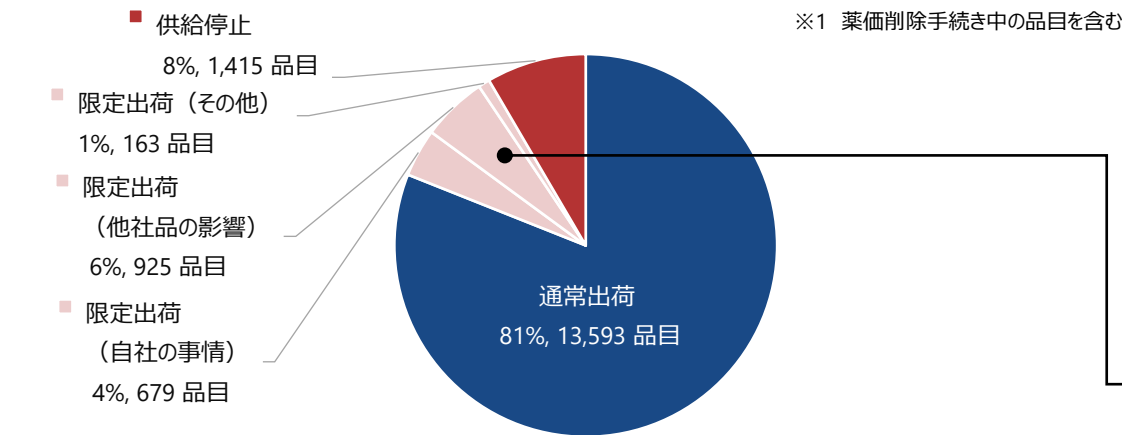


1-1 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和6年11月） （医薬品カテゴリー別）

○ 製造販売業者の対応状況については、調査対象17,376品目に対し、16,775品目の回答を得た。
○ 結果としては、**限定出荷・供給停止が合計19%**（3,182品目）であり、限定出荷の要因としては「**他社品の影響**」による**ものが最多**であった。

1 医薬品全体の対応状況 ※1



カテゴリー別：「供給停止」、「限定出荷」の割合

2024年11月 調査結果	供給停止		限定出荷	
	銘柄数	構成比	銘柄数	構成比
先発品	95	7%	149	8%
長期収載品 ※	45	3%	114	6%
後発品	987	70%	1,034	59%
その他医薬品 ※	288	20%	470	27%
合計	1,415	100%	1,767	100%

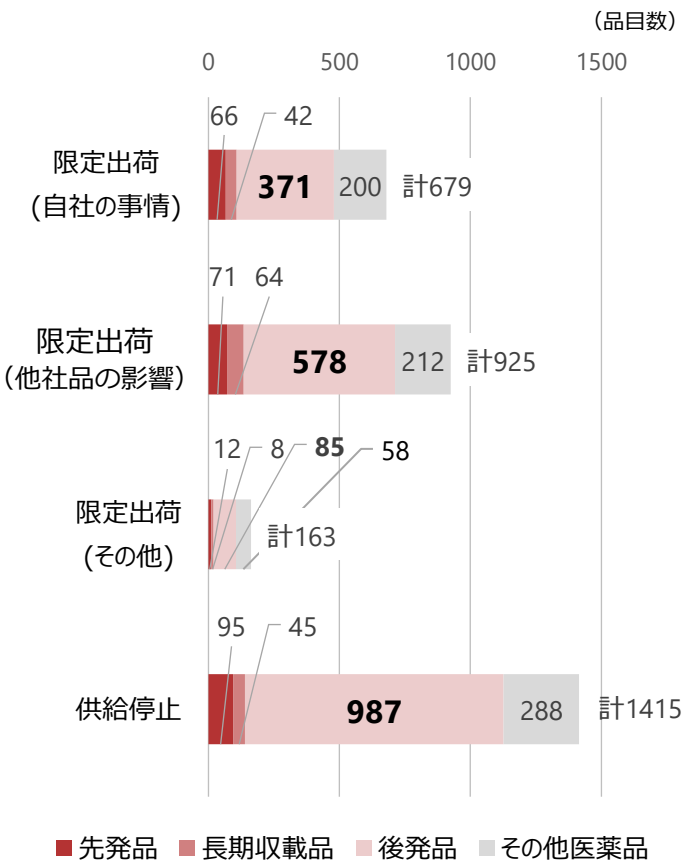
項目の定義

※長期収載品：後発品のある先発品
※その他の医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

カテゴリー別：限定出荷の要因（自社事情、他社品の影響）分析

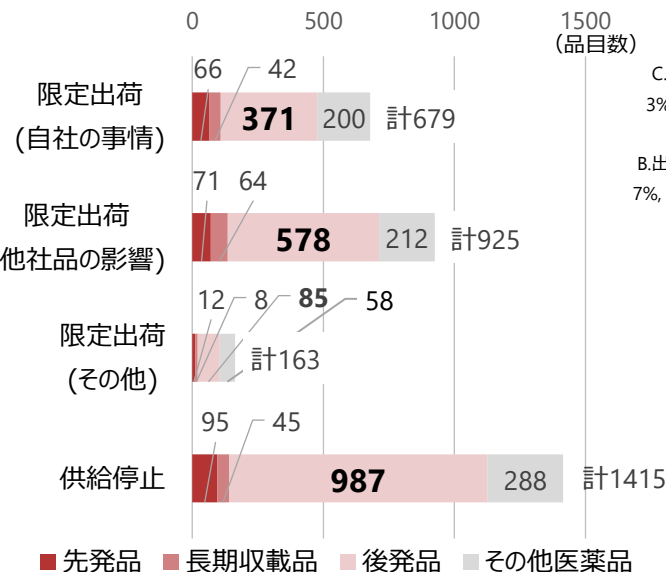
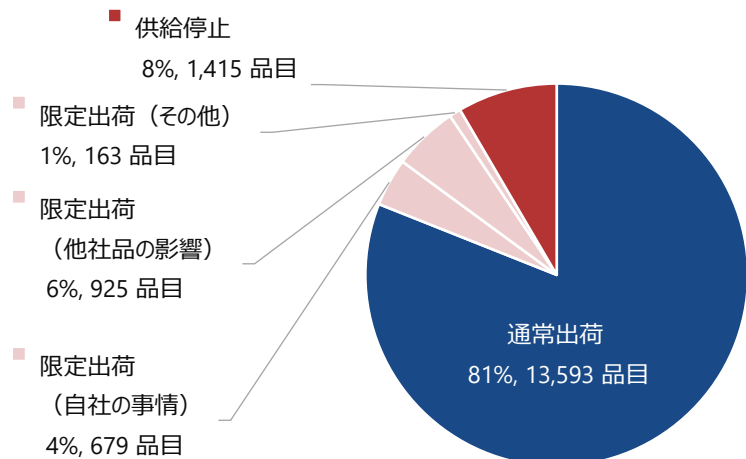
2024年11月 調査結果	限定出荷							
	自社の事情		他社品の影響		その他		合計	
先発品	66	10%	71	8%	12	7%	149	8%
	44%		48%		8%		100%	
長期収載品 ※	42	6%	64	7%	8	5%	114	6%
	37%		56%		7%		100%	
後発品	371	55%	578	62%	85	52%	1,034	59%
	36%		56%		8%		100%	
その他医薬品 ※	200	29%	212	23%	58	36%	470	27%
	43%		45%		12%		100%	
合計	679	100%	925	100%	163	100%	1,767	100%
	38%		52%		9%		100%	

2 限定出荷・供給停止の内訳

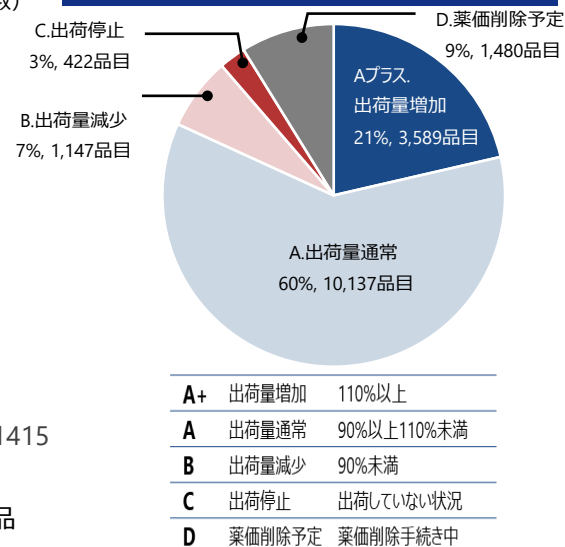


1 - 2 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和6年11月） （薬価削除予定品目有無別）

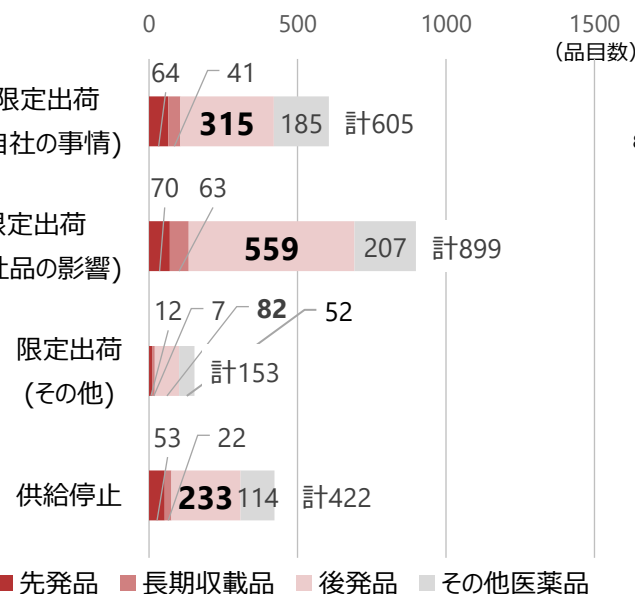
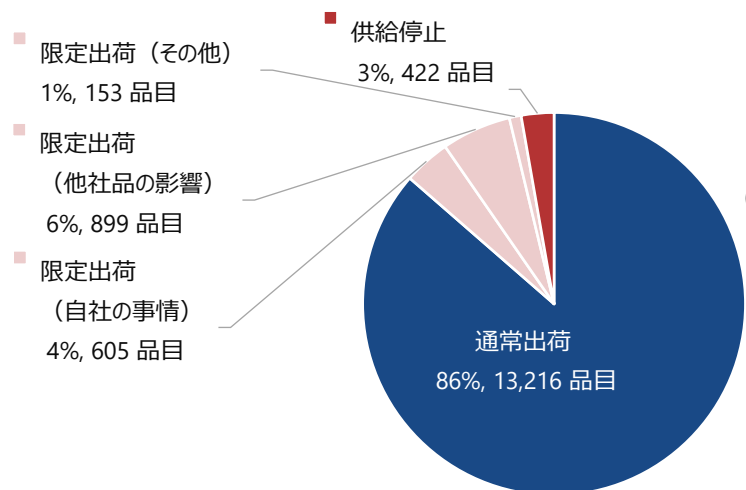
医薬品全体の対応状況



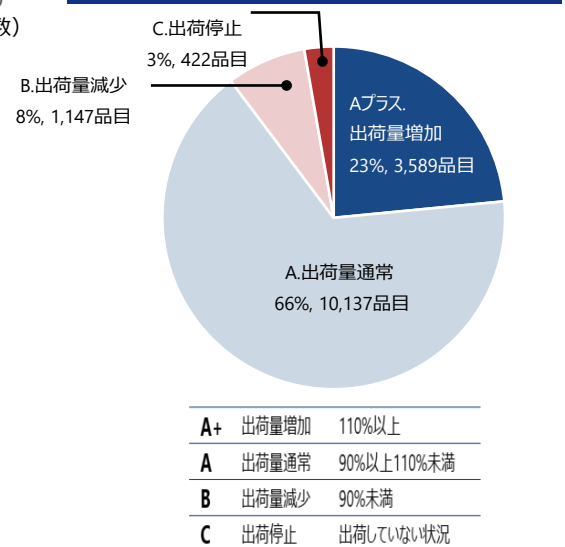
医薬品全体の出荷量の状況



医薬品全体の対応状況

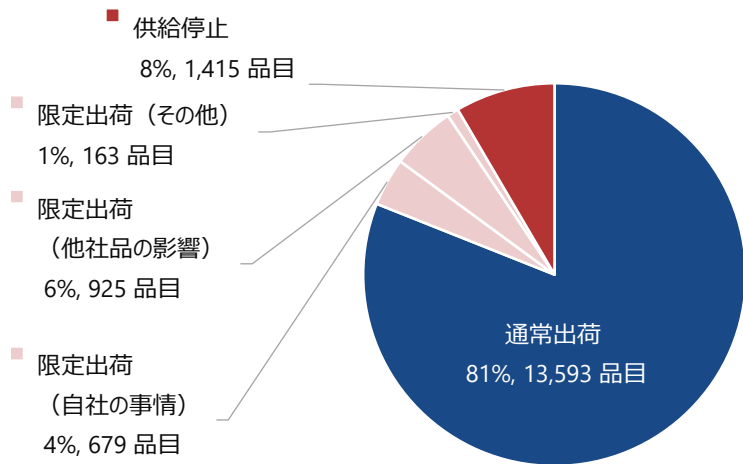


医薬品全体の出荷量の状況

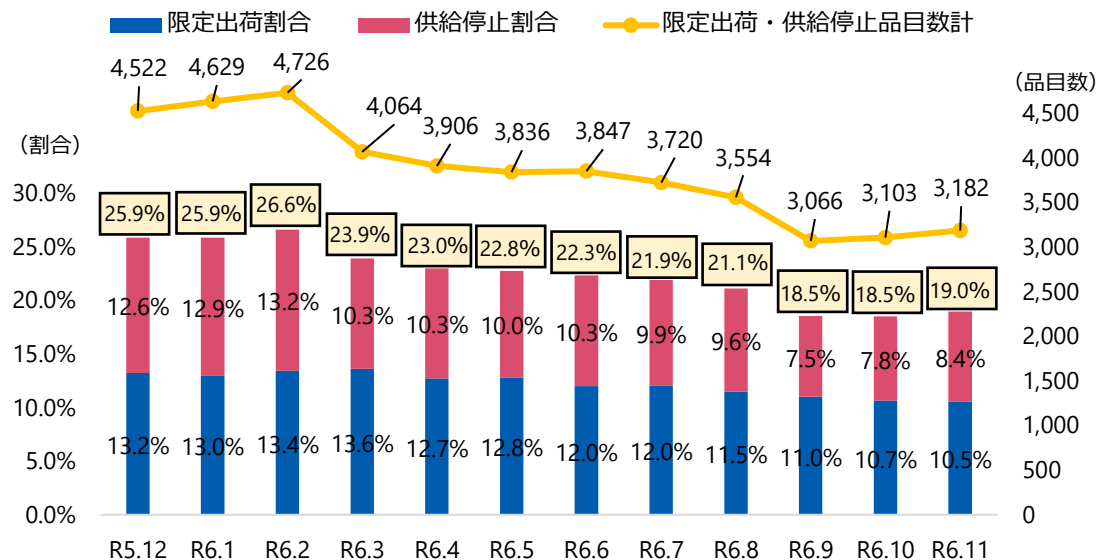


1-3 ① 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移（令和5年～6年度）（供給（限定出荷・供給停止）の状況）

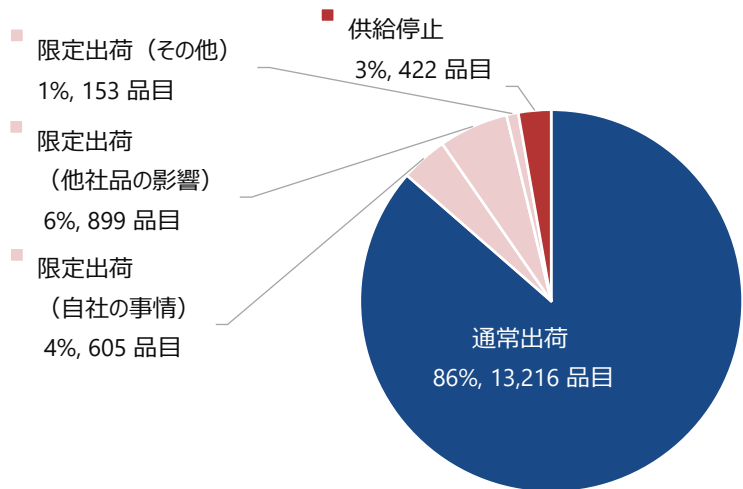
医薬品全体の対応状況（令和6年11月）



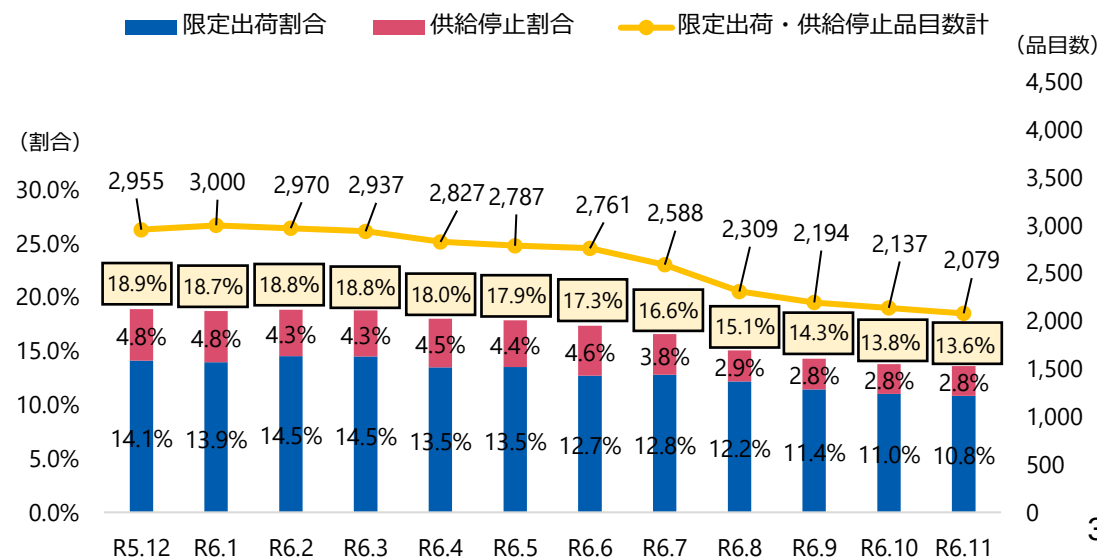
医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移



医薬品全体の対応状況（令和6年11月）

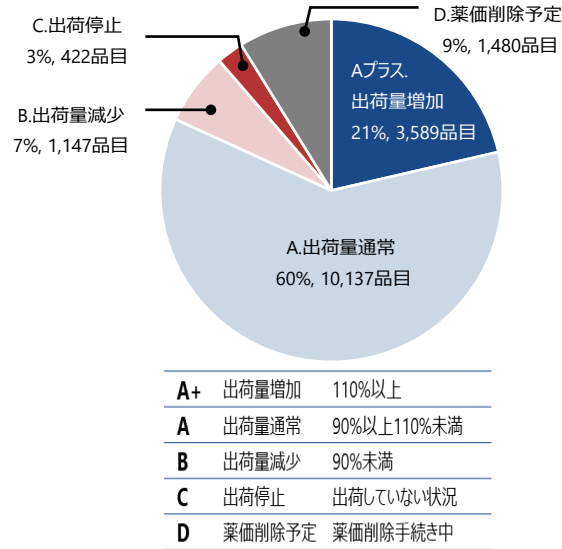


医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移

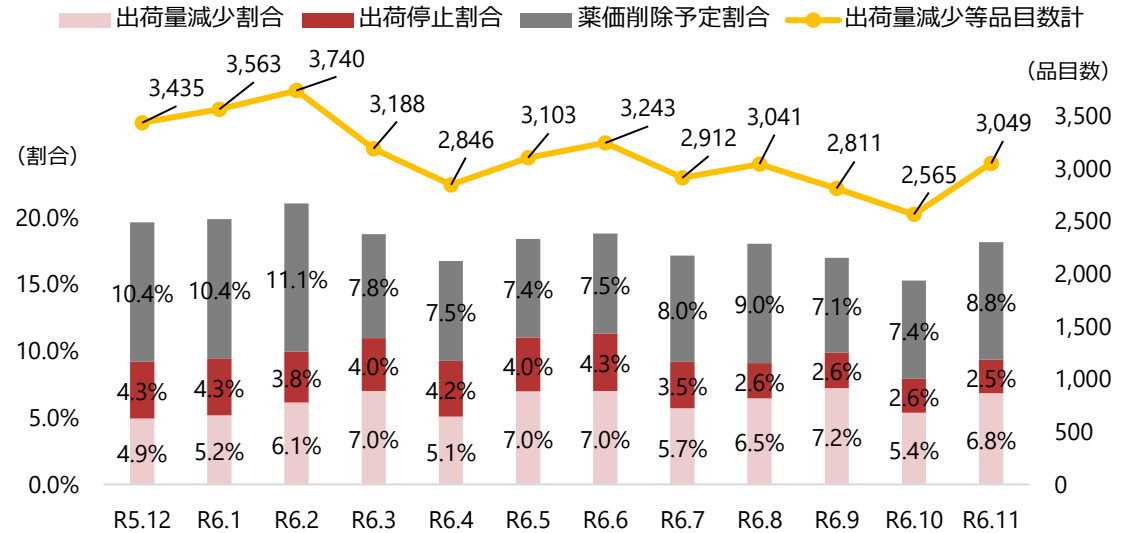


1-3② 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移（令和5年～6年度）（出荷量（減少・停止・薬価削除予定）の状況）

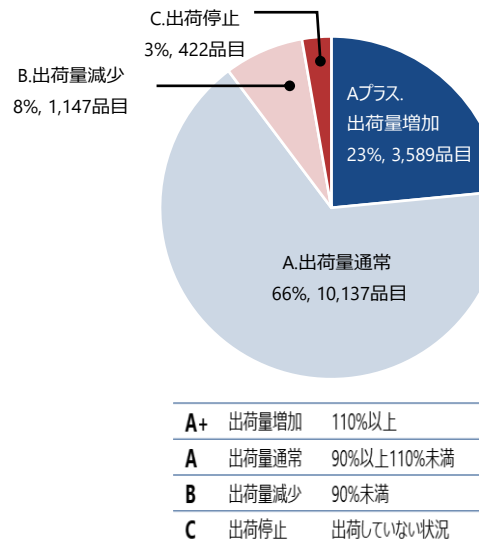
医薬品全体の出荷量の状況（令和6年11月）



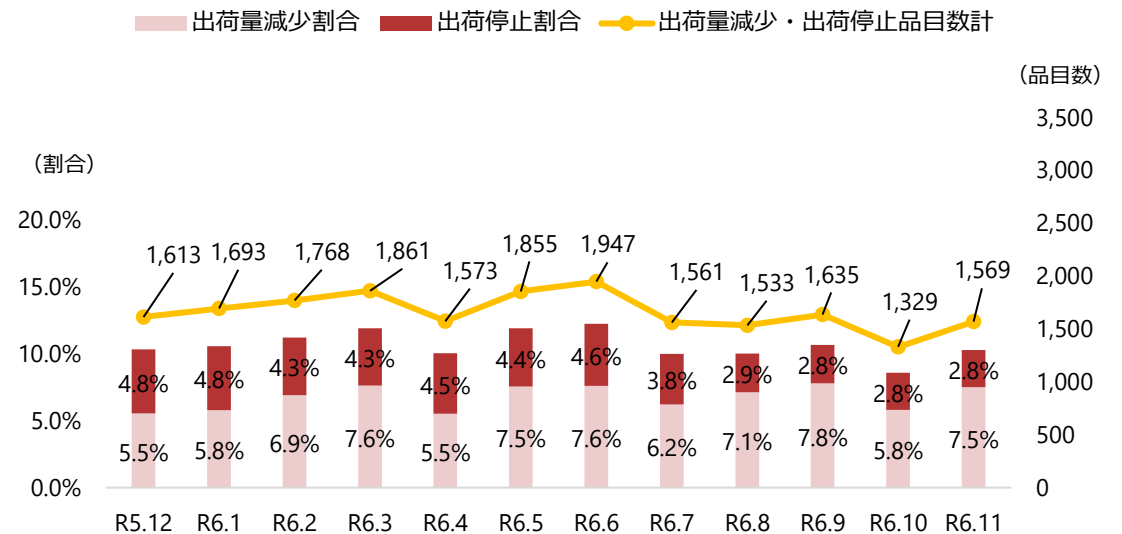
医療用医薬品の出荷量の推移



医薬品全体の出荷量の状況（令和6年11月）



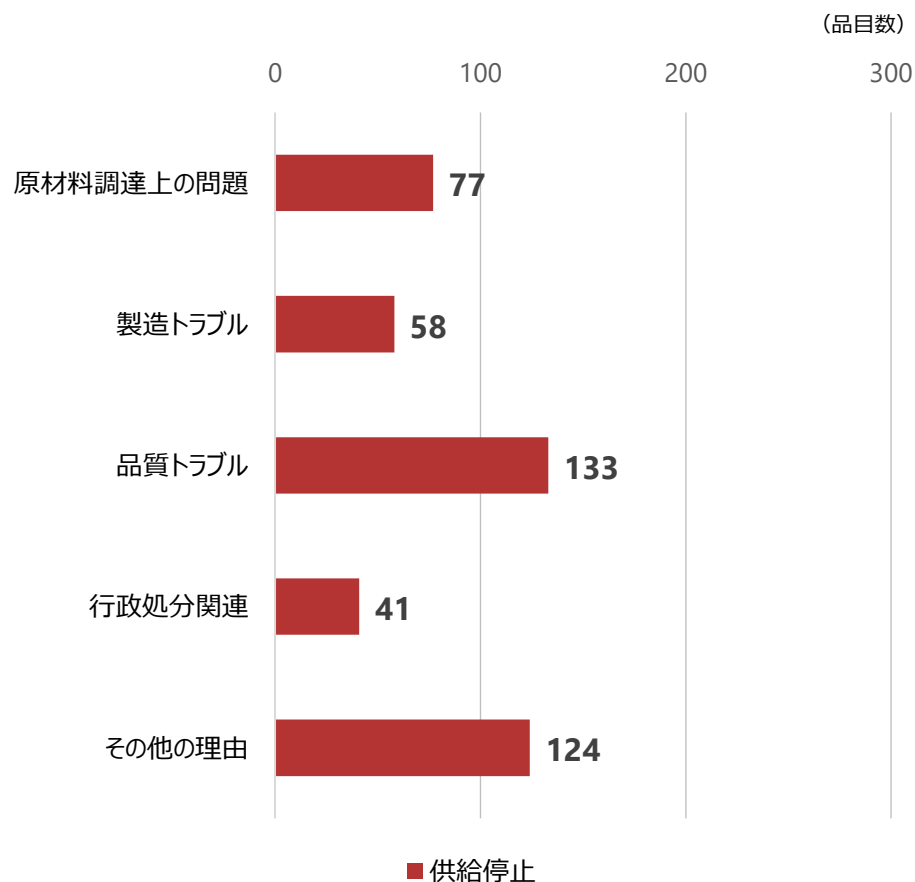
医療用医薬品の出荷量の推移



1-4 供給停止・限定出荷の理由（令和6年11月）

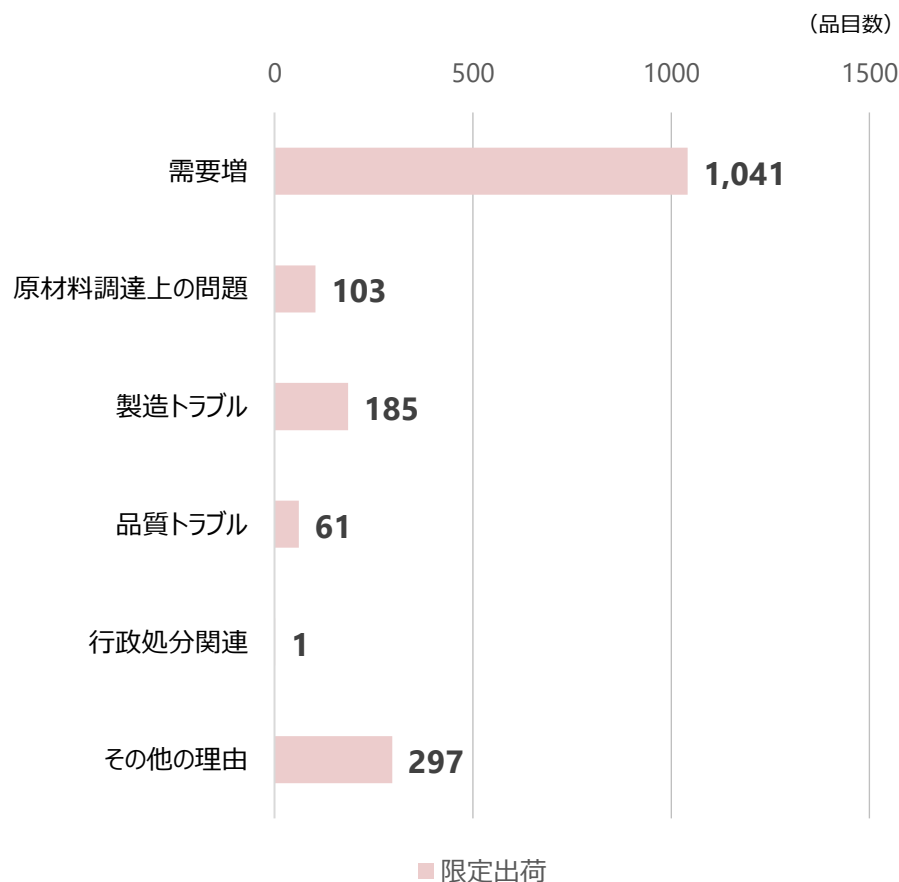
○ 供給停止1,415品目、限定出荷1,767品目について、供給停止・限定出荷の理由の回答を得た。供給停止の理由は「品質トラブル」が最も多く、限定出荷の理由は「需要増」が最多であった。

1 供給停止の理由 ※1



※1 薬価削除が理由である982品目は除く。

2 限定出荷の理由 ※2

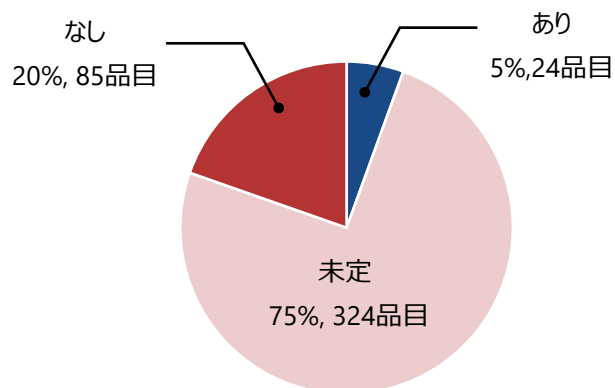


※2 薬価削除が理由である79品目は除く。

1 - 5 供給停止の解消見込み（令和6年11月時点）

- 供給停止1,415品目について、解消見込みの回答を得た。「未定」が最多であった。
- 供給停止解消の見込み「あり」と回答されたものについて、解消時期の見込みは「3カ月超」が最多であった。

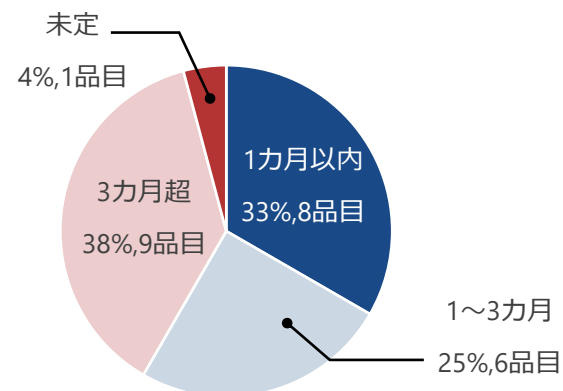
1 供給停止の解消見込み ※1



(単位：品目)

理由	あり	未定	なし
原材料調達上の問題	4	56	17
製造トラブル	6	50	2
品質トラブル	13	116	4
行政処分関連	0	29	12
その他の理由	1	73	50
合計	24	324	85

2 供給停止の解消時期の見込み



(単位：品目)

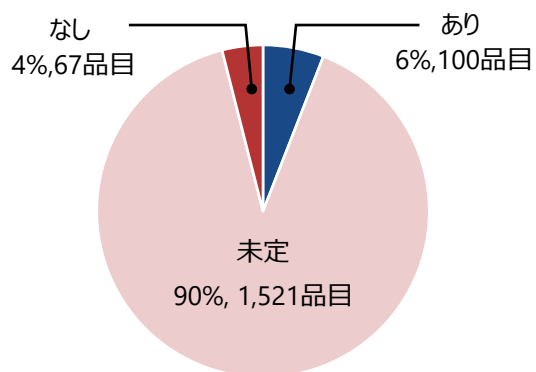
理由	1カ月以内	1〜3カ月	3カ月超	未定
原材料調達上の問題	0	1	2	1
製造トラブル	0	2	4	0
品質トラブル	8	2	3	0
行政処分関連	0	0	0	0
その他の理由	0	1	0	0
合計	8	6	9	1

※1 薬価削除が理由である982品目は除く。

1－6 限定出荷の解消見込み（令和6年11月時点）

- 限定出荷1,767品目について、解消見込みの回答を得た。「未定」が最多であった
- 限定出荷解消の見込み「あり」と回答されたものについて、解消時期の見込みは「1カ月以内」「1～3カ月」が最多であった。

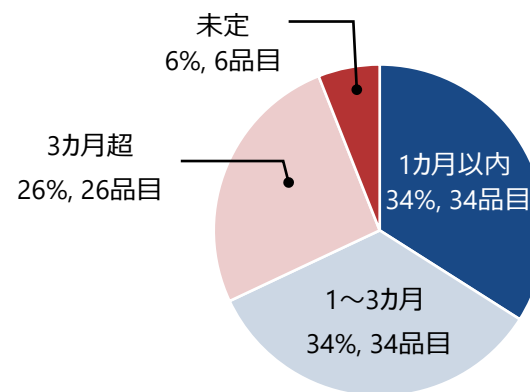
1 限定出荷の解消見込み ※1



(単位：品目)

理由	あり	未定	なし
需要増	48	974	19
原材料調達上の問題	7	86	10
製造トラブル	12	170	3
品質トラブル	3	55	3
行政処分関連	0	1	0
その他の理由	30	235	32
合計	100	1,521	67

2 限定出荷の解消時期の見込み



(単位：品目)

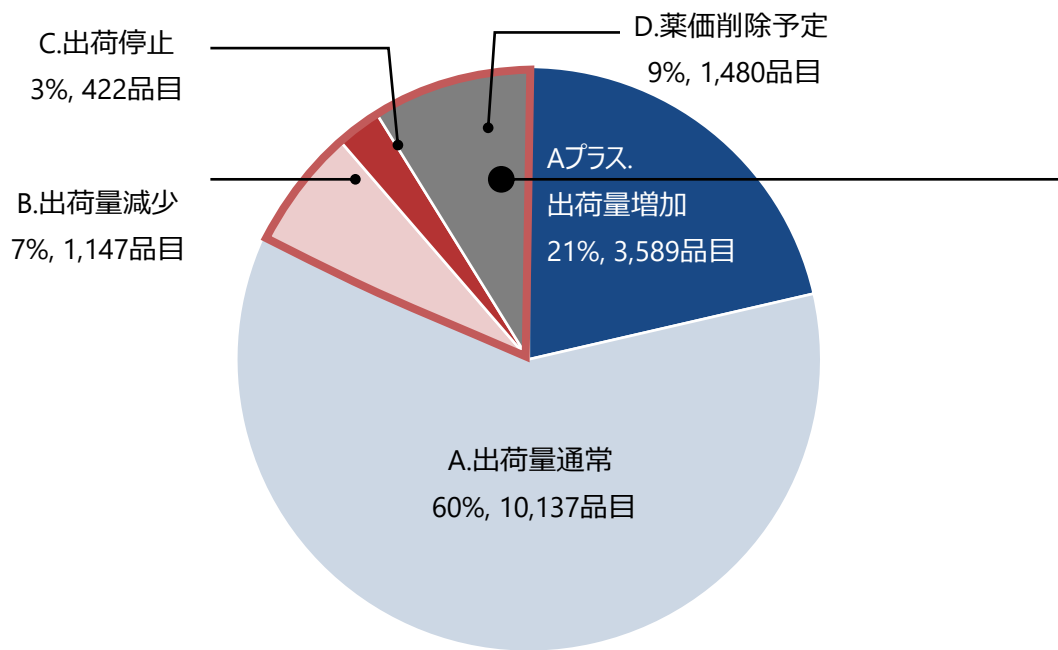
理由	1カ月以内	1～3カ月	3カ月超	未定
需要増	20	12	10	6
原材料調達上の問題	2	3	2	0
製造トラブル	4	4	4	0
品質トラブル	3	0	0	0
行政処分関連	0	0	0	0
その他の理由	5	15	10	0
合計	34	34	26	6

※1 薬価削除が理由である79品目は除く。

2 製造販売業者の出荷量の状況—医薬品全体（令和6年11月）

- 製造販売業者の出荷量の状況については、調査対象17,376品目に対し、16,775品目の回答を得た。
- 出荷量通常等は合計82%、出荷量通常等以外の**出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定が合計18%**であり、出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳としては、出荷量減少は「その他医薬品」、出荷停止・薬価削除予定は「後発品」が最多であった。

1 医薬品全体の出荷量の状況



A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況
D	薬価削除予定	薬価削除手続き中

2 出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳

